

西尾市地区別防災カルテ

①基本情報

地区No	13
地区名	室場小学校

●地区の概況

市東側に位置し、北側に広田川、中央に須美川が流れる。東部・南部の山地と中央部・西部の谷底・氾濫平野に大きく分かれ、平野部には自然堤防が、山地には段丘がそれぞれ散在する。段丘上には住宅地が形成されている。東側は宅地開発が行われている。地区北部には、国道23号が東西に走っており、主要な交通路となっている。

●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	1298 世帯	
65歳未満	2740 人	72.2 %
65歳以上	1036 人	27.3 %
合計	3795 人	

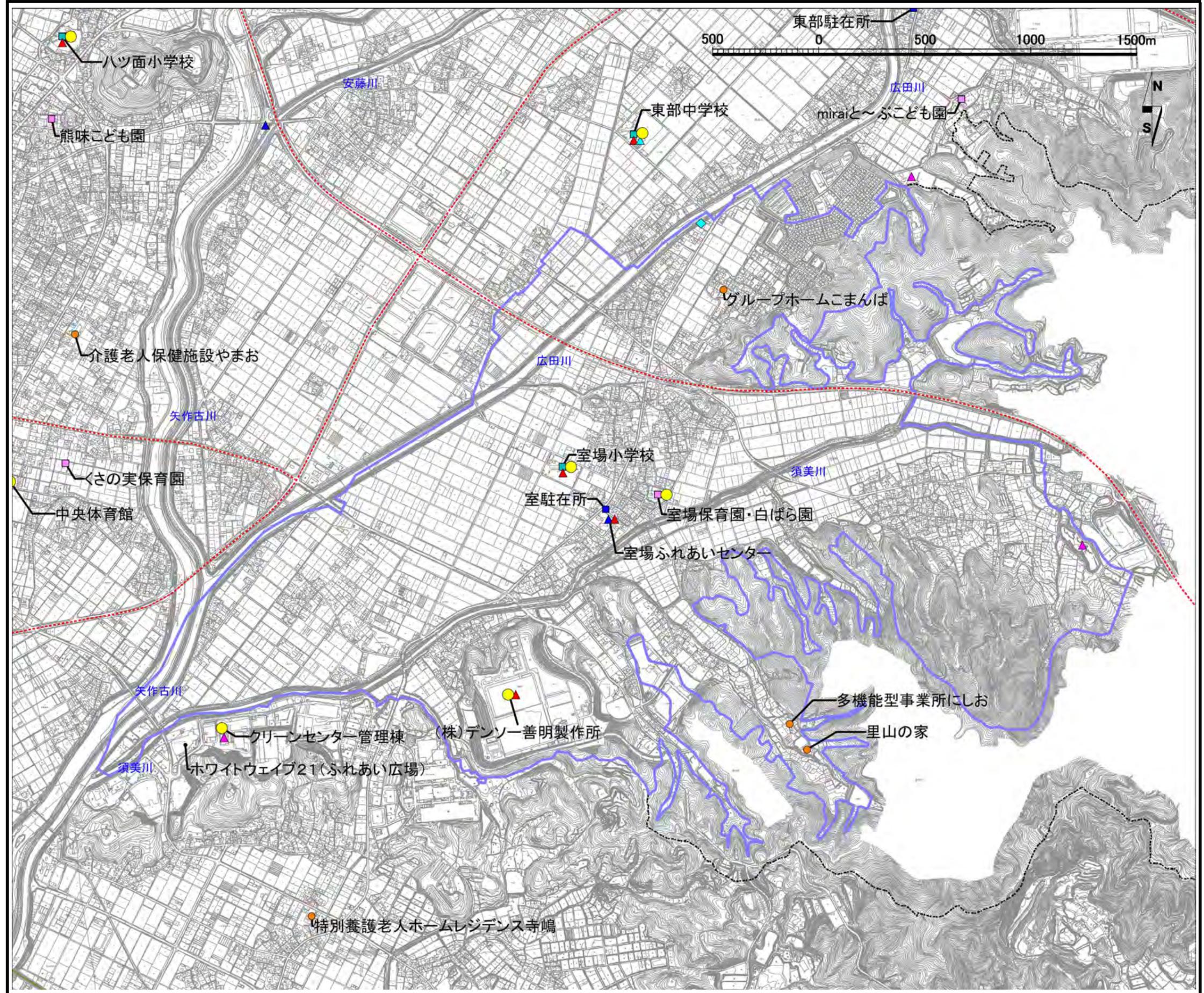
※合計値は年齢不詳の人口も含む

●地区の課題

平地が河川に囲まれていることから、洪水時は浸水範囲が広く、高台にある避難所に避難者が集中するおそれがある。
丘陵地では土砂災害が発生する可能性も高い。
地震時は、液状化が発生した場合、一部の避難所が使用できなくなるおそれがある。

●凡例

● 指定緊急避難場所	● 学校
● 指定避難所	● 幼稚園・保育園等
● 津波一時待避所	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・ その他備蓄倉庫等
● 福祉避難所	▲ 水防倉庫
◎ 市役所・支所等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
■ 警察署等	▲ 防災活動拠点
■ 消防署等	▲ 衛生施設
■ 救急病院	● その他の施設
◆ 水位観測所	
◆ 雨量観測所	
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

②洪水被害・土砂災害

地区No	13
地区名	室場小学校

●地区別大雨等被害の特性

広田川と須美川に囲まれた平野部では広範囲にわたり、浸水が想定される。地区内に2箇所ある指定避難所のうち、室場小学校は浸水想定区域に含まれており、洪水時は開設しない施設である。このため、当地区外の避難先としてスポーツ公園総合体育館が指定されている。また、丘陵地では各種土砂災害が発生する危険性がある。

●避難環境評価

避難所収容者数	510人
避難者数	3039人
最長避難距離	約 3.0 km

※避難所収容者数は洪水時のみの人数

●最大浸水深

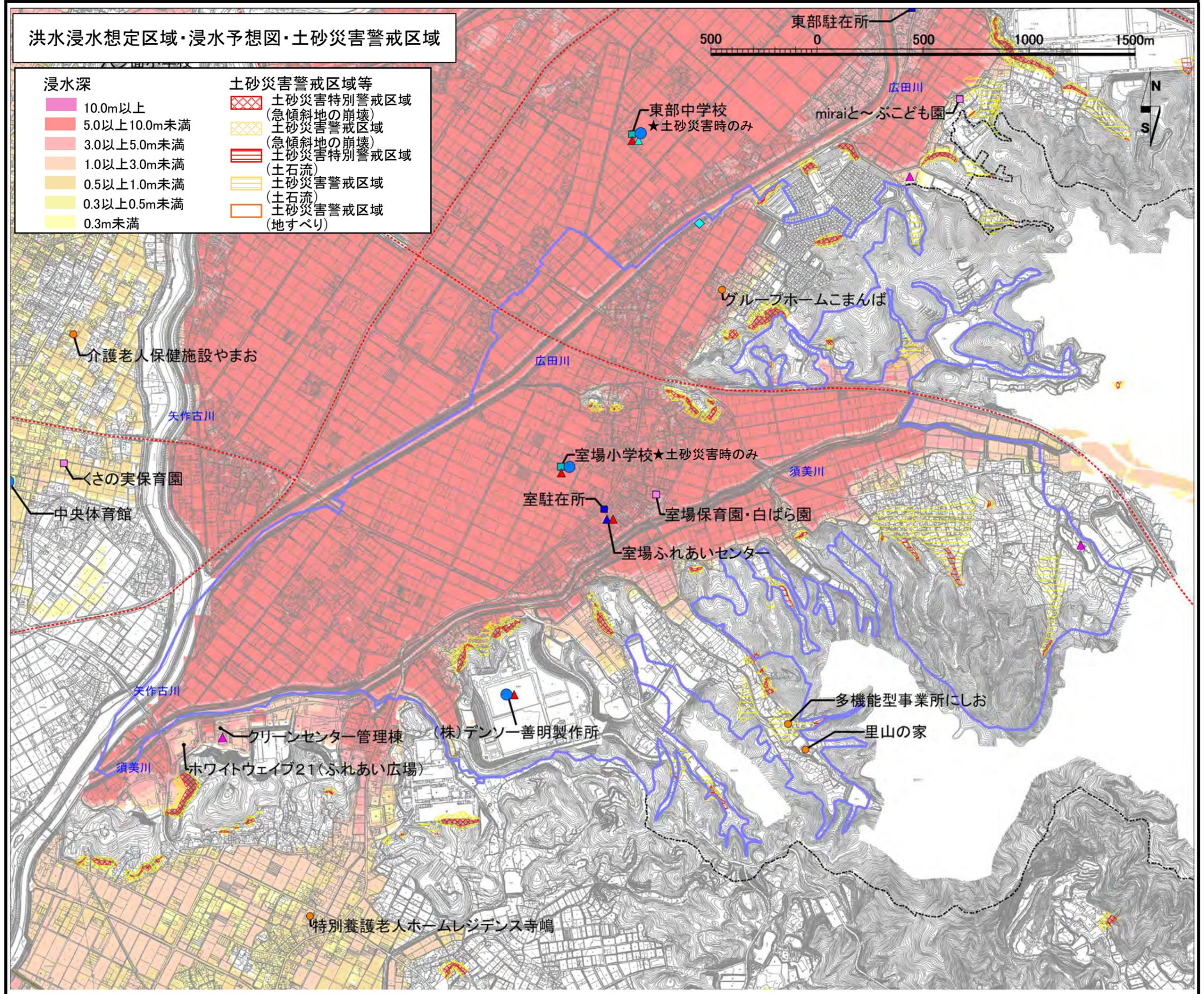
対象全河川(重ね合せ)	5m以上10m未満
矢作川	5m以上10m未満
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	5m以上10m未満
朝鮮川	範囲外
矢崎川	範囲外
北浜川・二の沢川	範囲外
乙川	3m以上5m未満
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	21箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	23箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	14箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	9箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0箇所

●凡例

指定緊急避難場所	学校
指定避難所(洪水・土砂時使用可)	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

③地震被害

地区No	13
地区名	室場小学校

●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、震度6弱から6強となる。(下図参照)
 広田川沿いの一部地域と避難所に指定されている室場小学校の南東部では液状化の危険度が極めて高く、緊急輸送道路に指定されている岡崎バイパス(国道23号)も液状化による被害を受ける可能性が高い。

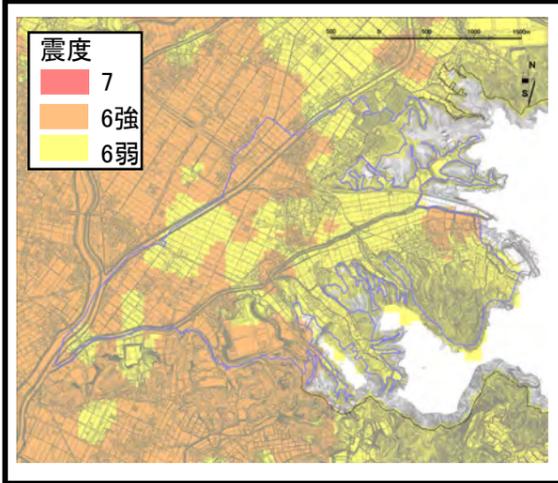
●避難環境評価 ※平成26年地震被害予測調査結果より

避難者数 ※津波による建物倒壊避難者も含む	520人
--------------------------	------

●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

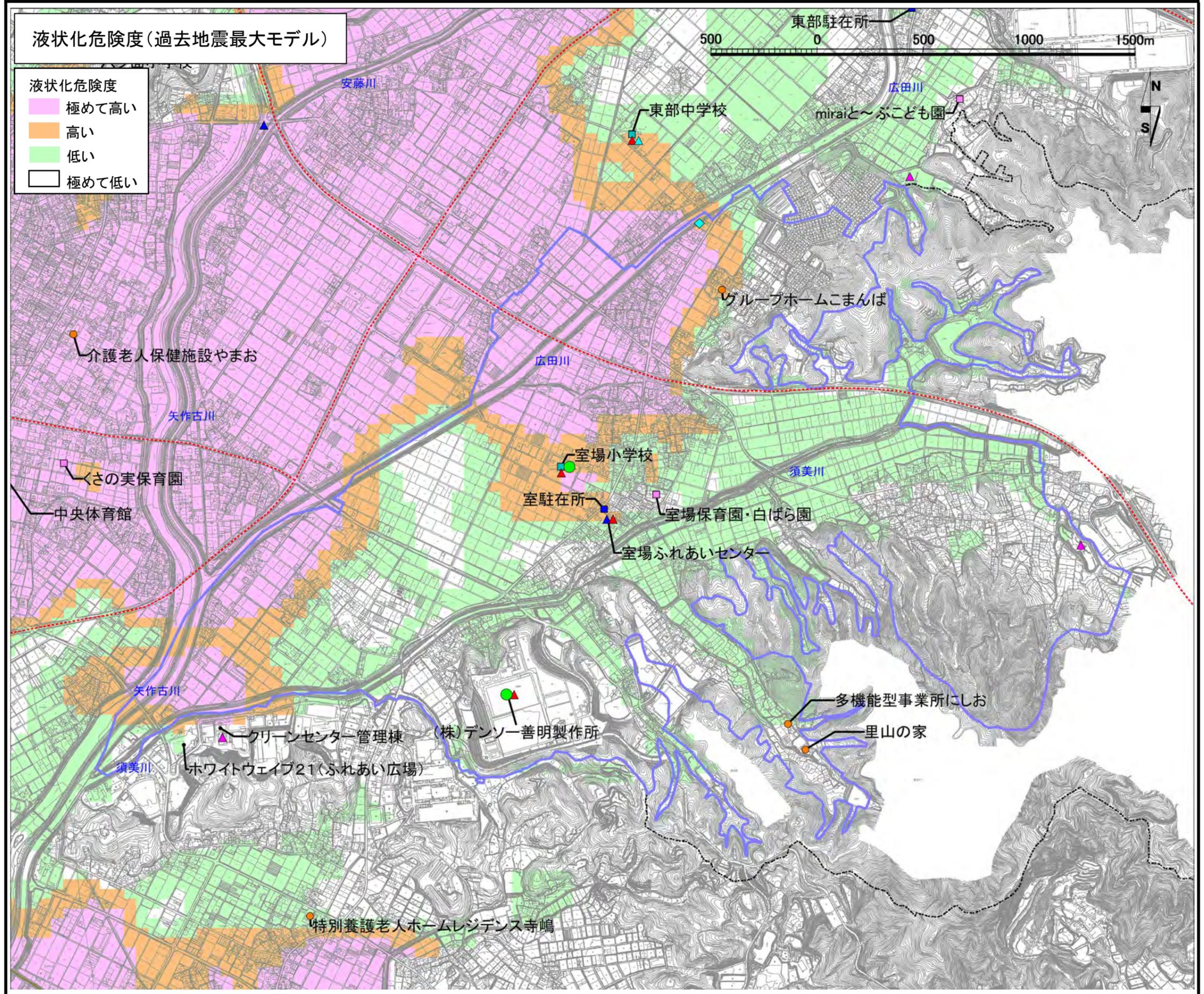
建物全壊数	98棟
建物半壊数	246棟
死者数	4人
重傷者数	8人

●過去地震最大モデル震度分布図



●凡例

- 指定緊急避難場所・指定避難所 (地震時使用可)
- 福祉避難所
- ◎ 市役所・支所等
- 警察署等
- 消防署等
- 救急病院
- ◆ 水位観測所
- ◆ 雨量観測所
- 学校
- 幼稚園・保育園等
- ▲ 防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
- ▲ 水防倉庫
- ▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
- ▲ 防災活動拠点
- ▲ 衛生施設
- その他の施設
- 小学校区界
- 市町村界
- 鉄道
- 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

④津波被害

地区No	13
地区名	室場小学校

●地区別津波被害の特性

地区内に浸水想定区域はなく、津波避難の必要性はない。

●避難環境評価

津波一時待避所収容者数	0人
避難所収容者数※1	2260人
避難者数	-人
津波浸水想定区域外までの距離※2	約 - km

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画(令和5年4月修正)に記載された校区のみ記載している。

●津波浸水深

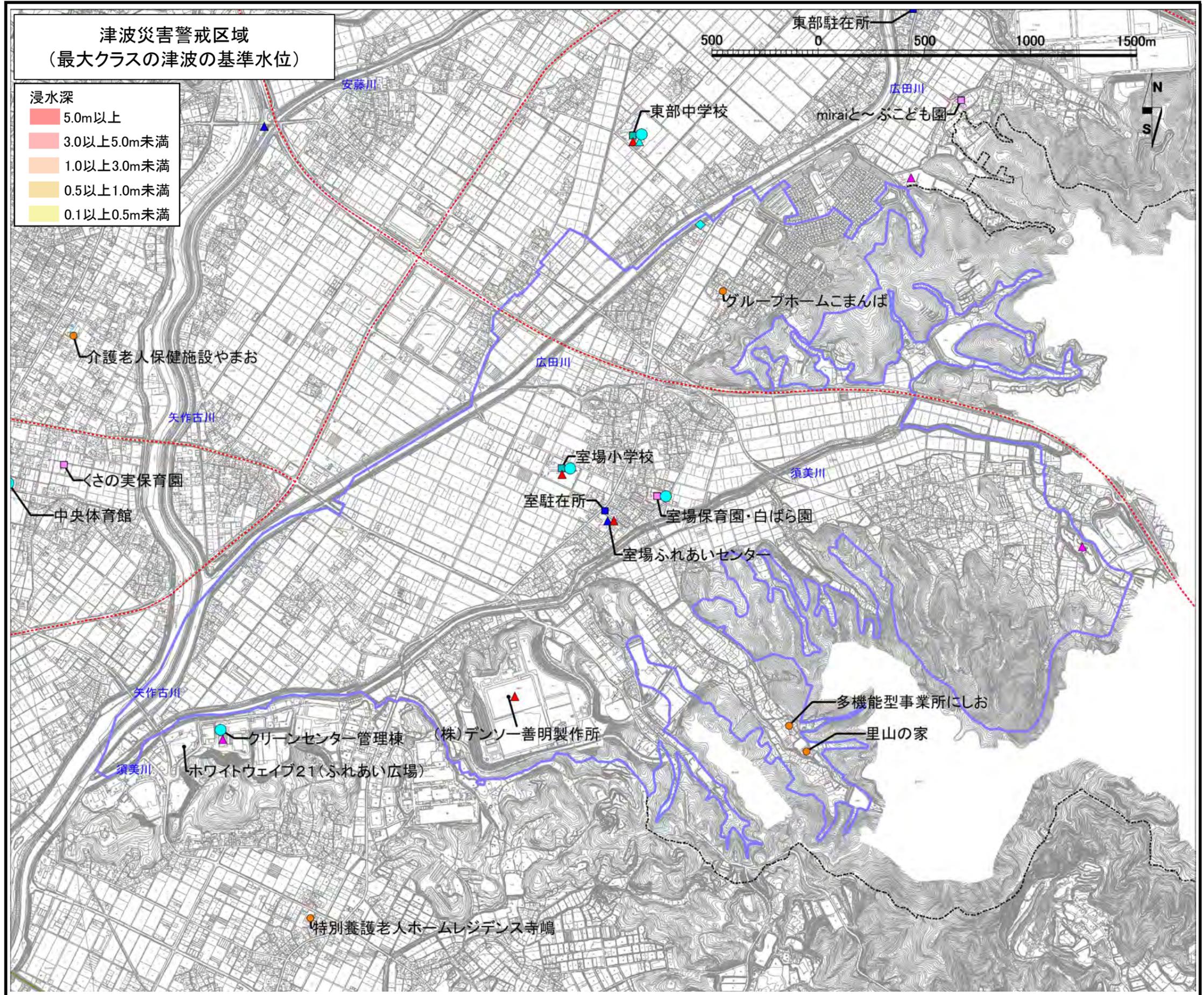
最大クラスの津波の基準水位	
最大津波水位	範囲外
過去地震最大モデル(参考)	
最大津波浸水深	範囲外

●津波発生時の避難先

避難目標: 室場小学校、室場保育園・白ばら園
(他校区からの避難目標)

●凡例

● 指定緊急避難場所	■ 学校
● 指定避難所 (津波時使用可)	■ 幼稚園・保育園等
● 津波一時待避所	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・ その他備蓄倉庫等
● 福祉避難所	▲ 水防倉庫
● 市役所・支所等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
● 警察署等	▲ 防災活動拠点
● 消防署等	▲ 衛生施設
● 救急病院	● その他の施設
◆ 水位観測所	
◆ 雨量観測所	
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

⑤高潮被害

地区No	13
地区名	室場小学校

●地区別高潮被害の特性

地区内に浸水想定区域はなく、高潮避難の必要性は低いですが、広田川、矢作古川で高潮の遡上が予想されるため、不用意に川に近づかないことが重要である。

●避難環境評価

避難所収容者数	0人
避難者数	-人
最長避難距離	約 - km

●高潮浸水深

最大高潮浸水深	0.5m以上3m未満
---------	------------

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所 (高潮時使用可)	学校
福祉避難所	幼稚園・保育園等
市役所・支所等	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
警察署等	水防倉庫
消防署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
救急病院	防災活動拠点
水位観測所	衛生施設
雨量観測所	その他の施設
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路

